

# D.REPORT

第97期年次報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

# ずっと暮らす。 地球と暮らす。

「暮らし価値」創造企業 DAIKEN

家族がいて、笑い声が部屋に響く。  
毎日が、普通に暮らせることの大切さを私たちは知りました。  
ずっと、素敵な笑顔で暮らしてほしい…  
すべての人が、安全・安心で元気でいてほしい…  
そんな想いを私たちは、住まいづくりに託します。

自然の恵みを大切に、地球にもやさしいモノづくり。

みなさんと一緒に、「暮らし価値」創造のはじまりです。

「暮らし価値」創造



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに第97期連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）における当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

取締役社長  
澤木 良次



当連結会計年度の世界景気は、世界景気の減速により弱い動きがみられたものの、東日本大震災の復興需要が下支えとなったことに加えて、年度後半には政権交代を契機とした景気回復への期待から、株価も回復の兆しがみられました。

住宅市場におきましては、東北を中心とした復興需要及び金利優遇措置などの政府政策に加えて、消費税増税を見越した住宅の取得マインドの上昇を受け、年度累計の新設住宅着工戸数は前年度を6.2%上回る89万3千戸と堅調に推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは大転換・大躍進の方針を掲げ、成長が見込まれるリフォーム市場、海外市場、産業資材分野及びエンジニアリング市場の攻略を進めました。リフォーム市場では、TOTO(株)、YKK AP(株)と共同で「TDY東京コラボレーションショールーム」を新規オープンし、お客様に対する提案の強化を図りました。海外市場では、インドネシア事務所の新規開設や中国連結子会社のドア生産ラインの増強を行い、海外に進出している日系企業などへの供給力の強化を図りました。産業資材分野では、MDFやエコ台板（植林木合板と特殊MDFを用いた床基材）を中心としたエコ素材の安定した供給に努め、売上拡大を図りました。また、ホクシン(株)との業務提携により生産の効率化に取り組みました。エンジニアリング市場では、大阪エリアでの大型物件の受注による売上増に加え、従来の売上拡大から利益重視に方針を転換し、選択的な受注と現場ごとの管理体制を強化し、収益の改善に努めました。

一方、体質強化につきましては、総人件費をはじめとする固定費の削減や物流費の低減など販管費の抑制に加え、不採算事業からの撤退や生産拠点の統合などの合理化を進めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,581億53百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益47億3百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益56億69百万円（前年同期比23.2%増）、当期純利益13億18百万円（前年同期比50.8%増）となりました。

今後につきましては、欧州政府の債務危機などを背景とした金融資本市場の変動や世界景気の下振れ、急激な為替変動並びに金利上昇や原材料コストの高騰に注意が必要であり、依然として慎重な景気動向の見極めが必要と考えられます。一方で、政府による景気対策及び海外経済状況の改善等により、国内景気が回復へ向かうことが期待されており、特に住宅市場におきましては、本格化する復興需要と消費税増税を見越した需要などから、堅調に推移すると予測されます。

当社グループにおきましては、2011年度よりスタートしている「中期経営計画」に基づき、拡大・成長市場に対しさらなる積極的な経営資源の投入を行い、業容拡大を図ってまいります。国内市場では、ショールームを中心とした消費者目線での営業展開で売上拡大を図ります。海外市場では、東南アジア及び中国でのさらなる販売拡大を推進いたします。産業資材分野では、販売が拡大しているMDFを中心としたエコ素材の安定供給をより一層強化してまいります。

また、体質強化としては、物流体制の抜本的な見直しやエンジニアリング事業の収益の改善をさらに進め、利益の拡大を図ります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 事業別の概況

Business Report

## 売上構成比

住空間事業

56.0%

## 取扱商品

### 東北応援フローアー

岩手モデル

WAX不要塗装  
化粧単板  
Eハードベース  
特殊MDF  
岩手県産スギ合板

▲ 地産地消を推進する「東北応援フローアー」が岩手県大船渡市の災害公営住宅に採用された



▲ 国産材活用を推進する「日本の樹」シリーズを業界に先駆けて発売

## 業績の概要

売上高  
831億92百万円  
3.7%増

経常利益  
29億15百万円  
48.8%増

住空間事業につきましては、国産材活用を推進するため、杉などの木材を当社独自の技術で加工し、表面材として活用した新製品「日本の樹」シリーズを発売し、売上を拡大しました。

床材を中心とする内装材事業につきましては、マンション・賃貸住宅市場での当社製品の採用拡大に伴い、当社独自技術によるエコ台板を使用した床材の売上が増加しました。また、岩手県及び宮城県で産出されるスギ合板を基材に使用した新製品「東北応援フローアー」が災害公営住宅に採用されるなど、地域材を地元で活用する“地産地消”のモデルを推進し、被災地の住宅環境及び経済の早期復興に向け取り組みました。

室内ドア、収納や造作部材を中心とする住機製品事業につきましては、高齢者住宅向け建材「おもいやりシリーズ」を軸に、設計事務所や事業主への提案を強化しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高831億92百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益29億15百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

エコ事業

31.9%



▲ 高い耐震性能と、優れた透湿性能で住まいの寿命をアップする「アセダス・耐震ボード」



▲ 様々な機能を持つ機械抄和紙でできた畳おもて「健やかおもて」

売上高  
474億2百万円  
1.8%増

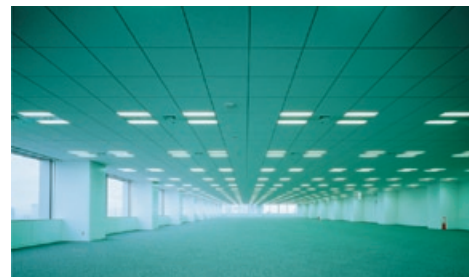
経常利益  
25億96百万円  
4.6%増

エコ事業につきましては、MDFにおいて、床用MDFの需要増加とキッチンメーカー等への採用が進み、好調に売上を伸ばしました。ダイライトにおきましては、金属パネル用基材などの新規用途とリフォーム向け耐震改修製品で拡大を図りました。インシュレーションボードは、従来の用途である畳芯材や屋根下地材に加え、新たに耐力面材用途の製品を全国発売し、拡販に努めました。畳おもてにおきましては、和紙を原材料とする当社の製品特長が、安心・安全と耐久性においてお客様から好評を得ておりシェアが拡大していることから、平成24年5月に東部大建工業(株)（連結子会社）会津工場に新ラインを立ち上げ、供給量を拡大しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高474億2百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益25億96百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

エンジニアリング事業

12.1%



▲ オフィスビル施工例(東京)



大阪エリアで竣工した大型物件 ▶

売上高  
180億49百万円  
23.8%増

経常利益  
1億91百万円  
(前年同期は  
経常損失54百万円)

エンジニアリング事業につきましては、マンション・ビル・店舗市場において従来の天井工事を中心とした受注体制から他の内装工事を含めた複合受注体制への強化を図りました。特に、大阪エリアでは受注していた大型物件が竣工するなど好調な売上となりました。また、職人不足による原価高騰を受け、売上拡大から利益重視に方針を転換し、選択的な受注と現場ごとの管理体制を強化することで損益の改善に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高180億49百万円（前年同期比23.8%増）、経常利益1億91百万円（前年同期は経常損失54百万円）となりました。

## TDY東京コラボレーションショールーム オープン (DAIKEN新宿ショールーム)

### Topics 消費者目線での提案活動を強化!

2012年11月3日、「JR南新宿ビルの7・8階」にリフォームを中心とした情報発信の拠点となる『TDY東京コラボレーションショールーム』をグランドオープンしました。

TOTO、DAIKEN、YKK AP3社の旗艦ショールームとなる本ショールームは、JR新宿駅サザンテラス口から徒歩4分と抜群の立地にあり、全国のコラボレーションショールームの中で最大規模となる1,120坪（大建エリア180坪）のフロア面積を誇ります。



3社製品を集結させたコラボレーション空間の展示では、戸建住宅の全面リフォーム事例や、TDYで初となるマンションリフォームの事例もご紹介し、「健康配慮」「長持ち住宅」「CO<sub>2</sub>削減」の3つのテーマを実現する、空間づくりをご提案しています。

大建エリアでは、市場からご好評を

いただいている国産材を表面化粧材に活用した「日本の樹」シリーズの空間展示をはじめ、約190本のドアと約260柄の床材サンプルを一堂に展示。開館以来、月平均2,000組を超えるお客様に、『暮らしをイメージしやすい』ショールームとしてご利用いただいております。また、ご来館者のさらなる満足度の向上を目指してアドバイザー人員の拡充も図っております。



なお、秋葉原ショールーム（旧、東京ショールーム）は、高齢者住宅・施設向け建材「おもいやりシリーズ」や、新築・リフォームに対応できる豊富な「耐震関連製品」の展示ブースを新設。2013年3月に『機能体感型』のショールームとしてリニューアルオープンしました。



### 注目の新製品(2013年4月、5月)

#### 高齢者住宅・施設向け建材 「おもいやりシリーズ」の提案力を強化

「おもいやりシリーズ」は、高齢者だけでなく、その住まいや施設に携わるすべての人がより安心して、健やかで快適に暮らせる空間づくりをご提案する内装建材のシリーズです。

2012年1月の発売後もニーズの高まりをみせる高齢者住宅・施設市場にて、より提案力を強化するため、製品ラインアップを拡充しました。

不燃性能が求められる避難通路や薄壁などにお使いいただける「不燃面材を使用した扉」や「スチール製の枠」をはじめ、開口部などの設置が難しい箇所にも取り付け可能な「開口部連続手すり」、靴の脱ぎ履きや立ち上がる際の動作に配慮した「共用下駄箱ベンチ付」などを2013年4月に追加発売。続いて5月には、ウイルス抑制機能「ピオタスク」を付与した天井材・壁材をラインアップに加え、さらに幅広いご提案を可能としました。

サービス付き高齢者向け住宅や介護付き有料老人ホームなど、高齢者住居施設でもより一層お役立ていただけるシリーズとして、さらなる安心と心地よい暮らしをサポートいたします。



### 注目の新製品(2013年5月)

#### 室内ドア・収納の新定番 「hapia(ハピア)シリーズ」新発売

シリーズ名である「hapia(ハピア)」の語源は、Happy(幸せ)+interior(インテリア)+amenity(快適)。住まう人に笑顔があふれる暮らしをお届けする建材シリーズとして、2013年5月に発売しました。

デザインや素材にこだわりを持ち、自ら建材を選ばれるお施主様にもご満足いただけるよう、あらゆる世代のライフスタイルや価値観にお応えする新シリーズです。

ナチュラルな木質感を表現した銘木ウッド調や、シンプルでスタイリッシュなグロス調・マット調、重厚な質感を表現したレザー調など、上質な空間を演出する全12柄をラインアップ。





# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## ● 連結貸借対照表(要旨)

科目	前連結会計年度 平成24年3月31日現在	当連結会計年度 平成25年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	66,961	71,889
固定資産	58,440	59,596
有形固定資産	38,427	38,549
無形固定資産	1,962	2,192
投資その他の資産	18,051	18,853
繰延資産	67	132
資産合計	125,469	131,618

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成24年3月31日現在	当連結会計年度 平成25年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	70,065	64,904
固定負債	18,454	26,843
負債合計	88,519	91,747
<b>純資産の部</b>		
株主資本	33,512	33,894
その他の包括利益累計額	56	2,107
少数株主持分	3,380	3,868
純資産合計	36,949	39,870
負債純資産合計	125,469	131,618

## ● 連結損益計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	当連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	151,209	158,153
売上原価	113,189	119,121
売上総利益	38,020	39,031
販売費及び一般管理費	33,477	34,327
営業利益	4,542	4,703
営業外収益	1,045	1,834
営業外費用	987	869
経常利益	4,600	5,669
特別利益	261	2,091
特別損失	2,968	5,387
税金等調整前当期純利益	1,893	2,373
法人税等合計	741	487
少数株主損益調整前当期純利益	1,151	1,885
少数株主利益	277	566
当期純利益	874	1,318

(単位:百万円)

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	当連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	9,074	2,624
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,218	△2,033
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,929	224
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△12	75
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,914	891
現金及び現金同等物の期首 残高	5,716	9,630
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	74
現金及び現金同等物の 期末残高	9,630	10,596

(単位:百万円)

## ● 連結業績の推移

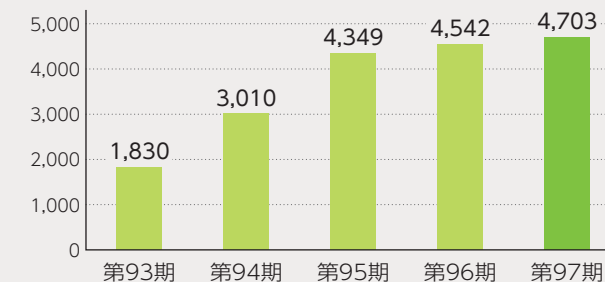
### 売上高

(百万円)



### 営業利益

(百万円)



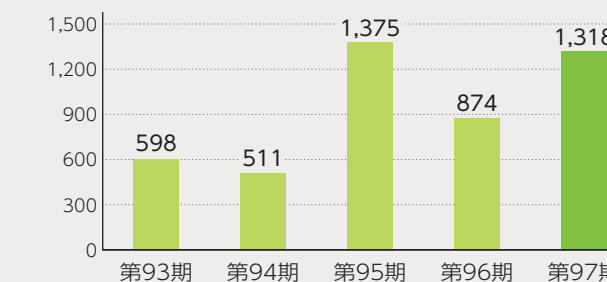
### 経常利益

(百万円)



### 当期純利益

(百万円)



# 会社データ

Corporate Profile

## ● 会社の概要 (平成25年3月31日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日

資本金 131億5,003万9,080円

### 本社及び事業所

本店 富山県南砺市井波1番地1

本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号

東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号

主要な営業所 札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、シンガポール

販売会社 大建阿美昵体(上海)商貿有限公司(中国)  
C&H株式会社(東京、大阪)

国内生産工場 三重ダイケン株式会社(津市)  
株式会社ダイフィット(鳥取県倉吉市)  
株式会社ダイウッド(三重県伊賀市)  
セトウチ化工株式会社(岡山市)  
井波大建工業株式会社(富山県南砺市)  
富山住機株式会社(富山県砺波市)  
株式会社サンキ(富山県高岡市)  
岡山大建工業株式会社(岡山市)  
東部大建工業株式会社  
(茨城県高萩市、福島県会津若松市)  
株式会社ダイタック(岡山市)

海外生産工場 大建工業(寧波)有限公司(中国)  
DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED  
(ニュージーランド)  
DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.(マレーシア)  
DAIKEN MIRI SDN.BHD.(マレーシア)

## ● 役員 (平成25年6月27日現在)

取締役	
代表取締役社長	澤木良次
代表取締役副社長	金坂和正
代表取締役専務	億田正則
取締役	今村喜久雄
取締役	山中健司
取締役	山本谷達夫
取締役	加藤智明
取締役	照藤尚志
社外取締役	相原隆

監査役	
常勤監査役	伊藤章倫
常勤監査役	島田睦博
社外監査役	宇塚俊夫
社外監査役	水野浩児

執行役員	
執行役員社長	澤木良次
執行役員副社長	金坂和正
専務執行役員	億田正則
常務執行役員	今村喜久雄
常務執行役員	山中健司
常務執行役員	山本谷達夫
常務執行役員	加藤智明
常務執行役員	冬木敏夫
常務執行役員	畑島正志
常務執行役員	照藤尚志
常務執行役員	播磨哲男
上席執行役員	菊竹信夫
上席執行役員	北川隆雄
上席執行役員	吉田弥寿郎
執行役員	杉本寛明
執行役員	川島光賢
執行役員	長谷川賢司
執行役員	布佐施茂
執行役員	佐藤花人
執行役員	吉田修和

# 株式データ

Stock Information

## ● 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

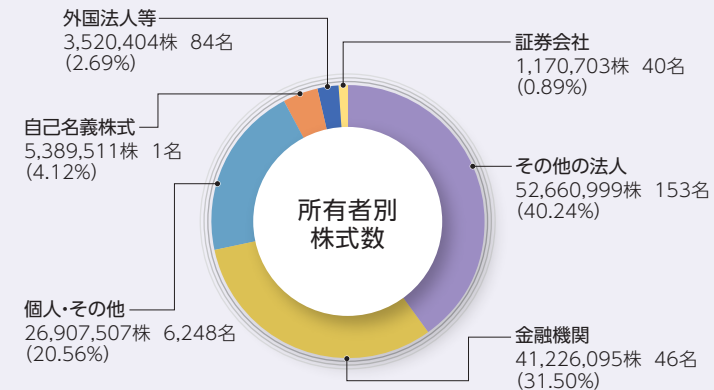
発行可能株式総数	398,218,000株
発行済株式の総数	130,875,219株
株主数	6,572名

## ● 大株主の状況 (平成25年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	31,948,000	25.5
株式会社三井住友銀行	4,934,903	3.9
住友生命保険相互会社	4,656,000	3.7
三井住友信託銀行株式会社	4,440,000	3.5
日本生命保険相互会社	3,409,346	2.7
住友林業株式会社	3,191,000	2.5
大建工業取引先持株会	2,838,000	2.3
丸紅株式会社	2,821,942	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,609,000	2.1
三井住友海上火災保険株式会社	2,608,000	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式を5,389,511株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ● 株式分布状況 (平成25年3月31日現在)



当社のホームページでも  
詳しい情報を開示しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業

検索



TOPページ  
「会社情報」をクリック  
してください。



「会社情報」の  
「株主・投資家の皆様へ」  
をクリックしてください。

### 情報サイトの一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、IRイベント情報などの豊富なデータをご覧いただけます。ご利用ください。



## 株 主 メ モ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月開催  
**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
          期末配当 毎年3月31日  
          中間配当 毎年9月30日  
          そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

**株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(郵便物送付先)** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** ☎ 0120-782-031

**(インターネットページ)** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**公告の方法** 電子公告(当社のホームページに掲載する)  
<<http://www.daiken.jp/>>

**上場金融商品取引所** 東京、大阪証券取引所



DAIKEN  
<http://www.daiken.jp/>  
大建工業株式会社